**７月１９日（木）国際ワークショップ開催のお知らせ**

**（日本KM学会理事　進　博夫）**

西原先生のご厚意で国際ワークショップ開催の告知をさせて頂きます。

7月19日午前に2人のフランス人研究者によるワークショップを開催します。

開催概要

- 日時：　7月19日（木）　9:15-11:00

- 場所：　エーザイ本社会議室　（地下鉄丸ノ内線　茗荷谷）

- テーマ：”Collaborative Spaces and Knowledge Creation“（仮）

- 発表者：

Dr, David Vallat（ディヴィド・ヴァラット）　リヨン大学準教授、

<http://univ-lyon1.academia.edu/DVALLAT/CurriculumVitae>

Prof. Sandra Bertezene（サンドラ・.ベルテジーヌ）　仏国立工芸院（CNAM）教授

<https://fr.linkedin.com/in/bertezene>

7月19日のワークショップではオープン・イノベーションに繋がる知創活動に有効なコラボラティブ・スペース（ファブ・ラボ、コ・ワーキング・スペース、リビング・ラボ等）に関する研究成果と、日本各地でも増加中のスペースを巡った体験を踏まえた発表とダイアログを予定します。

Open walked Event-based Experimentation (OWEE).に関する共同研究にも言及予定。

エーザイの高山執行役員もディスカッションに参加されます。

参加ご希望の方は、氏名、所属明記の上、7月17日（火）までに進宛（h-shin@mqi.biglobe.ne.jp）ご連絡ください。

ご夫婦の二人は日本のKMに興味を持ち2014年に本学会を初訪問、2年前にもワークショップを開催しました。

今回の来日は、6月23日から3日間京都の同志社大学で開催された経済・社会の学際的国際学会、SASE 2018 Kyotoで自ら企画したワークショップ“Round Table :Open & Social Innovation - knowledge creation in practice”への参加と7月の本学会表敬訪問が目的です。SASEでは高山専務理事の「エーザイのhhc知創活動」、西原専務理事のタイトル・プレゼンと、これを受けてのDr. Vallatと宇田北大準教授によるコラボラティブ・スペースの発表でした。筒井万里子理事近畿大准教授、鳥山立命館教授に加え、英ダーラム大、米スタンフォード大、伊ボローニャ大など多くの海外研究者も参加し、議論白熱で90分の予定が30分超過するほどでした。

繰り返しになりますが、参加ご希望の方は、氏名、所属明記の上、7月17日（火）までに進宛（h-shin@mqi.biglobe.ne.jp）ご連絡ください。